

# 提案概要

実施期日	7月29日(火)【午前】
部会名	小学校 社会部会

**1 提案テーマ** 児童が抱いた疑問を解決し、自らの生活を見つめ直していく社会科を目指して  
～「さぐってみよう 昔の暮らし」の学習を通して～

**2 単元(題材)** 「さぐってみよう 昔の暮らし」

**3 学年** 第3学年

## 4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究主題とのかかわり

②問題解決的な学習や児童の主体的な学習を重視し、言語活動の充実を図る教材並びに学習指導と評価の工夫・改善

## 5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2内容

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

## 6 実践に向けての課題意識

3年生から始まった社会科の学習に、子どもたちは興味をもって取り組んでいる。特に、社会見学で見たことや気付いたことを、新聞にまとめることに意欲的である。しかし、祭りのことや昔の暮らし・人々の願いについて学習する本単元では、それらを直接見ることは困難である。そのため、資料の提示や単元の構成などを工夫し授業を展開していく必要があると考えた。そうすることで、子どもたちに暮らしの移り変わりに興味をもたせるとともに、地域への愛着を抱かせたいと考え、本研究に取り組むことにした。

## 7 実践の概要

「地域の年中行事」を扱う小単元を重点化して大単元を構成した。地域の祭りを題材として、祭りに込められた人々の願いを考えられるよう、地域素材の教材化や話し合い活動の充実に努めながら実践を進めた。子どもたちの疑問から学習課題を設定し、そのことについて学級全体で深められるよう話し合いをするとともに、事実を迫る手がかりとなる資料を提示した。

「昔の暮らしと道具」を扱う小単元では体験を重視し、体験で感じたことをもとにそのほかの道具の変化について考えさせた。

## 8 成果と課題

「年中行事」に関する小単元では、資料の提示方法を工夫したり体験活動を取り入れたりしながら、話し合い活動を通して、昔の人々や今の人々の心情に迫ることができた。また、地域に目を向けたことで、地域に愛着をもつ子どもが増えた。「昔の暮らし」に関する小単元では、昔と今の道具の比較として七輪とホットプレートを使い、それぞれの道具の長所や短所についても積極的に探そうとする意識をもつことができた。

子どもたちの抱いた疑問をできるだけ取り上げるよう単元構成を工夫したが、学習を進めていくうちに、子どもたちの疑問が次々と生まれてきたため、取り上げきれなかったことが課題である。また、道具を扱う学習において、地域での昔の生活と目にした昔の道具とのつながりを感じ取る場面が足りなかった。これらの点については今後の研究課題としていきたい。

## 9 予想される協議の柱

- ・昔の事柄について、子どもたちが自分事として捉える授業の工夫
- ・地域素材をどのような視点で教材化しているか